

広島県安芸郡倉橋町室尾方言における 身体感覚を表すオノマトペ

灰谷謙二

○はじめに

1. 調査対象地：瀬戸内海西部域、広島県西部の最南端島嶼域に属する倉橋島の一村。愛媛・山口両県との県境近くに位置する。呉市から南へ約28km。古くは商業地区。現在の主たる産業は漁業。他にみかん栽培も若干行われる。人口は世帯数約600戸。人口約1,200人。
2. 調査年月日：1991年8月25日
3. 話者：池条加江子 大正14年生（65歳）
 大作千代子 昭和4年生（62歳）
 森 カナエ 昭和4年生（62歳）
4. 調査場所：大上悦子氏（婦人会会長）宅にて三方、同時に調査。
5. 調査方法・調査時の様子：調査票に基づく質問法。池条氏を中心に他の二人が補足訂正を加えながらの調査。

I 全身の感覚

1-1. 快不快

サッ「バリ ○キ「モチガ エー。サッ「バリヘ「ター。気持ちがいい。さっぱりした。

1-2. 寒さ

ブル「ブル ○ジュ「ブヌレニナッ「テ ブ「ル「ブル フ「ルエ「ヨル。ずぶぬれになってぶるぶるふるえている。

ゾ「ク「ゾク ○カゼオ ヒーテ ゾ「ク「ゾクシタ。風邪をひいてぞくぞくした。

ス「ー「スー ○ウ「スギ ヘテ ス「ー「スー サ「ブ「イ。薄着をしてすうすう寒い。

○ス「ー「スー「ジャ ノ。すうすうだね。

1-3. 熱さ

酒を飲んだときの体の火照りを表すもの

ホッ「カ「ホッカ

ク「ワッ「クワッ

ポ「ン「ボン ○カラダガ 「ポ「ン「ボン モ「エ「ダシタ。ホ「ー「テ「リ「ダシタ。体がぼんぼん燃えだした。火照りだした。

II 皮膚の感覚

発汗時の不快感を表すもの

ム「ジュ」ムジュ 汗をかいてベ「チ」ベ「チ」になったときの感覚。このような気持をウズローシーという。

背中に異物の入った不快感を表すもの

モ「ゾ」モノ ○セ「ナカガ」 モ「ゾ」モノ イ「ガグルシ」。背中がもぞもぞいがぐるしい。

皮膚の乾燥した状態を表すもの

カ「サ」カサ

バ「サ」バサ

ワ「リ」ワリ ○ハダガ ワ「リ」ワリ。肌がわりわり。

バ「リ」バリ ○バ「リ」バリ ヒ「ッ」カバチニ ナル。ばりばりひっかばちになる。(ヒ「ッ」カバチもオノマトベカ)

カ「ッ」バカッパ ○ヒ「フ」ガ カ「ワ」イテ カ「ッ」バカッパニ ナル。皮膚が乾いてかっぱかっぱになる。

ゴ「ワ」ゴワ

皮膚に潤いのある状態を表すもの

ツ「ルンツル」ン ○ツ「ルンツル」ンニ ナッタ。つるんつるんになった。

ツ「ンツル」テン ○ツ「ンツル」テンニ ナ「ッ」タ。つんつるてんになった。

火傷をしたときの痛みを表すもの

ヒ「リ」ヒリ ○ヒ「リ」ヒリヘラー。ひりひりするわい。

ビ「リ」ビリ ○ヤ「ケド」ヘテ ビ「リ」ビリ イター。火傷をしてびりびり痛い。ヒバシリガ ヘル。火走りがする。(痛みが走る)

日焼けの時の痛みを表すもの

ヒ「リ」ヒリ ○セ「ナカガ」 ヒ「リ」ヒリ ヤケタ。背中がひりひり焼けた。

ビ「リ」ビリ

チ「カ」チカ ○チ「カ」チカ イ「タ」ー デノー。ちかちか痛いぞ。

擦過傷の痛みを表すもの

ビ「リ」ビリ

傷が化膿したときの痛みを表すもの

ズ「キ」ンズキン (ズ「ッ」キ「ンズ」ッキン) ○ズ「キ」ンズキン ウ「ズ」ク。プ「チ」コロゲテ 「ス」リムイダ。ずきんずきん疼く。ぶちころげて擦りむいだ。○ズ「ッ」キ「ンズ」ッキン イタム。ずきんずきん痛む。イトテモテン。キズガウズク。痛くてたまらない。傷が疼く。

Ⅲ 頭部の感覚

3-1. 頭

頭痛

ズ「キ」ズキ (ズ「キ」ンズキン・ズッ「キ」ンズッキン) ○ズキズキ イ「タ」ム。ずきずき痛む。

ガ「ン」ガン ○ガ「ン」ガン ワ「レル」ヨ「ー」ナ。が「ん」が「ん」割れるようだ。○ガ「ン」ガン ナル。が「ん」が「ん」なる。

ドッ「ク」ンドッキン

酒を飲んだときの頭痛

グ「ラ」グラ ○ア「タマ」ガ グ「ラ」グラ ニエル。頭がぐらぐら煮える。

3-2. 顔面

皮膚感覚の項参照。

3-3. 目

目を酷使したときの状態を表すもの

チ「カ」チカ ○チ「カ」チカスル。ちかちかする。

煙がしみる状態を表すもの

ショ「ボ」ショボ ○ケムタイ。ショ「ボ」ショボ。煙たい。しょぼしょぼ。

異物が入った状態を表すもの

コ「ロ」コロ ○メー コ「ロ」コロスル。目がころころする。

cf顔面を打った時のショックを表すもの

ク「ル」クル ○ア「オジ」ガ シンデ「メ」カラ ヒガデタ。メ「ガ」 ク「ル」クル マータ。青痣ができて目から火がでた。目がくるくるまった。

3-4. 耳

大きな音を長時間聞いたときなどの状態を表すもの

ガ「ン」ガン ○ミ「ミ」ガ 「ガ」ンガンスル。耳がが「ん」が「ん」する。

水に潜ったときの圧迫感を表すもの

ツ「ン」ツン ○ツ「ン」ツンスル。つんつんする。

耳の炎症の時の状態を表すもの

ジュ「ル」ジュル ○ミミダレニ 「ナッ」タリシトラ ジュ「ル」ジュルスル。耳だれになつたりしたらじゅるじゅるする。

3-5. 鼻

鼻炎の状態を表すもの

シュ「ー」シュー ○シュ「ー」シュースル。しゅうしゅうする。(水がでてつまった感じ)

ク「シュ」ンクシュン ○ハ「ナガ」 ム「ジュ」ガイ「ー」。コソバイ「ー」。ク「シュ」ンクシュンスル。鼻がむず痒い。くすぐったい。くしゅんくしゅんする。

刺激物を食べたときの感覚を表すもの

ツ¹ツ¹ツ¹ ○ハ¹ナガ ホンガ¹ル。ツ¹ツ¹ツ¹スル。鼻がホンガル。つんつんする。
(わさびなど食べて)

3-6. 口

粘りけのあるものを食べた時の状態を表すもの

ネ¹チャ¹クチャ ○ネ¹チャ¹クチャスル。ねちゃくちゃする。

3-7. 歯

寒いときの震えを表すもの

ガ¹タ¹ガタ ○ハ¹ガ ガ¹タ¹ガタ ユー。ガ¹タ¹ガタ フルー。歯ががたがたいう。
がたがた震える。

虫歯の痛みを表すもの

ズ¹キ¹ズキ ○ズ¹キ¹ズキ ウズク。ずきずき疼く。

ズ¹ク¹ズク

ズ¹ク¹ズクン

3-8. 舌

刺激物を食べたときの状態を表すもの

ピ¹リ¹ピリ ○ピ¹リ¹ピリスル。ぴりぴりする。

cfクチガ ホンガル。(唐辛子などの辛いものを食べて)

3-9. 喉

喉の乾きを表すもの

カ¹ラカラ ○ノ¹ドガ カ¹ラカラン ナッ¹タ。喉がからからになった。

喉のあれを表すもの

cfノ¹ドガ イ¹ガラシ¹ー。喉がいがらしい。

cfイ¹グイ¹ー。(筍を食べたとき)

cfイ¹キギ¹レ¹ガ シテ 「ハ¹ーハ¹ー モ¹テ¹ン。息切れがしてはあはあ耐えられない。

IV 胴体の感覚

4-1. 肩

肩の凝りを表すもの

キ¹ンキン ○カ¹タガ キ¹ンキンジャ。肩がきんきんだ。

4-2. 胸

動悸の激しい状態を表すもの

ド¹ク¹ンドク¹ン ○ム¹ネ¹ガ ド¹ク¹ンドク¹ンスル。胸がどっくんどっくんする。

ド「キ」ドキ ○ド「キ」ドキ ムネガ シメツケル。どきどき胸が締め付ける。

胸やけの状態を表すもの

ム「カ」ムカ ○ム「ネ」ガ ム「カ」ムカ。胸がむかむか。

4-3. 腹

空腹時の状態を表すもの

グ「ー」グー ○オナカ「ガ」グ「ー」グー ナ「ル」。お腹がぐうぐうなる。

ペ「コ」ペコ ○ペ「コ」ペコン ナ「ッ」タ。ぺこぺこになった。

満腹時の状態を表すもの

バンパン ○ハ「ラ」ガ バンパンニ 「ナ」ッ「タ」ノー。腹がばんばんになったなあ。

○ハ「ー」ラ 「フ」ートヤ。バンパンニ サ「ケ」ソ「ー」ナ。腹が太くなったぞ。

ばんばんに裂けそうだ。

ダ「ブ」ダブ ○ハラガ ダ「ブ」ダブジャー。腹がだぶだぶだ。

下痢の状態を表すもの

ゴ「ロ」ゴロ ○ハラガ ゴ「ロ」ゴロ ナリダス。腹がごろごろなりだす。

ピ「ー」ピー「シャ」ーシャー ○ピ「ー」ピー「シャ」ーシャー。イ「グリ」ワリ「ー」。ぴいぴいし
ゃあしゃあいぐりわるい。

酒を飲んだときの状態を表すもの

グ「ラ」グラ ○ハ「ラ」ガ グ「ラ」グラ ニエクリカエッタ。腹がぐらぐら煮えくり返った。

4-4. 胃

胃の刺すような痛みを表すもの

キ「リ」キリ ○イガ ニガル。キ「リ」キリ。胃が痛む。きりきり。

4-5. 尻

モ「ソ」モソ

V 手足の感覚

震えを表すもの

(手)

ブ「ル」ブル ○ブ「ル」ブル フルー。ぶるぶる震える。

(足)

ガ「ク」ガク ○ア「シ」ガ ガ「ク」ガクスル。足ががくがくする。

VI 関節(骨)の感覚

寝ちがえた時の首の状態を表すもの

メ「キ」メキ ○メ「キ」メキ ク「ビ」ガ タ「ゴ」ータ。めきめき首が違えた。

ボ「キ」ボキ

Ⅵその他

全身の痛みの比喩的な表現

ム「ロンジューガ」 イ「タ」イ。室尾中が痛い。

ム「ロンジョ」ジューガ」 イ「タ」イ。室尾所中が痛い。

どこが痛いと言ねられて、頭も手も痛いというようなときの誇張したいいかた。集落（室尾）全部が痛いの意味。

オノマトペ以外の身体感覚関係の語

イ「グリワリ」ー ○雨がふるとイ「グリワリ」ー。（神経痛）○ピーピーシャーシャー。
イ「グリワリ」ー。（下痢）

イ「ジリガイ」ー ○イ「ジリガイ」ー。（霜焼けの時のかゆみ）

イ「ガゲルシ」ー ○セ「ナカガ」 モ「ソ」モソ イ「ガゲルシ」ー。背中に異物の入った不快感

ドーブ「ルイガスル」 ○ドーブ「ルイガシタ」。（寒さ）

ホンガ「ル」 ○クチガ ホンガル。（唐辛子などの辛いものを食べて）

○ハ「ナガ」 ホンガ「ル」 ツ「ン」ツンスル。（わさびなど食べて）

○まとめ

- (1) 2モーラ反復型の場合、/R//N/を含まないものは、アクセントが○「○」○○となる傾向がある。含めば○「」○○○となる傾向がある。
- (2) 音韻的には合拗音は認められないが、クワックワッにはそれらしきものが認められ、強調のニュアンスも感じられる。
- (3) 酒を飲んだときの酔った状態をニエル（煮える）と捉え、それにともないグラグラの語形が用いられている。（→腹・頭） ○（強い人は）ナンボ 「ノ」ーデモニ「エンケ」ン。いくら飲んでも煮えないから（酔わないから）。

（はいたにけんじ 広島大学大学院）